

輸入粗飼料の情勢

全酪連
購買生産指導部
購買推進課

北米コンテナ船情勢

2月8日にロサンゼルス港から発表された報告によると、ロサンゼルス港及びロングビーチ港における沖合でのコンテナ本船の滞船は83隻となり、先月1月6日の106隻をピークに減少しています。これは2月に中国が旧正月を迎えるにあたり、中国国内の製造業が休暇に入るため、例年1月中旬から北米への中国向けコンテナ本船の寄港が減少することに起因しています。海運情勢の改善が期待されていますが、引き続き未曾有の滞船数量で推移しており、日本への入船状況は回復どころか悪化している状況です。ロサンゼルス・ロングビーチ港から出港する、日本向けの直行便サービスは滞船を避けスケジュール調整を図るため、1月から毎週の定期運航から隔週に変更されています。この影響で輸送能力は従来に比べ大幅に減少しており、日本向け本船の船腹逼迫が続いています。加えて3月には同サービスで3週連続の欠便が発表されており、3月から4月にかけて更なる輸入量の減少が懸念されています。

日本向けにアルファルファ、チモシーが多く輸出されている PNW 航路においても状況は悪化しています。冬期を迎え米国のシアトル・タコマ港とカナダのバンクーバー港では強風や降雪の影響でターミナルが閉鎖する日が増えていることから、荷役効率が低下し、沖合での滞船が増えています。この影響から PNW 航路では船社によっては3月の1ヵ月間、日本向け定期便の欠便を決定しており、輸送量が大幅に低下する見込みです。

ビートパルプ

【米国】

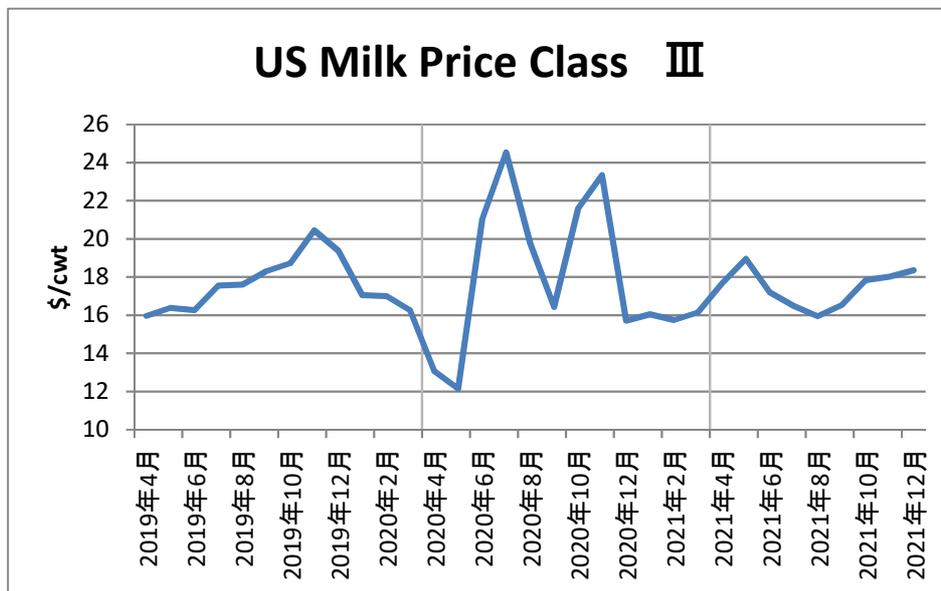
産地では各工場順調に生産が行なわれているものの、一部の地域で歩留まりが見込みより下回っていることから生産数量は下方修正されています。

需要については、穀物相場が堅調なことや他産地の相場上昇に伴い、国内外からの引き合いは旺盛であり、産地では余剰在庫はない状況です。

アルファルファ

米国、ヨーロッパ、オセアニアといった生乳の主要生産国の生産数量が減少しているなか、乳製品の世界的な需要は堅調なため、米国酪農家の乳価の指標となる Class Ⅲ 乳価は高い水準を維持しています。今後カリフォルニア州南部から22年産アルフ

アルファの生産が開始されますが、高値で推移する穀物相場を背景に引き続き穀物の代替としてアルファルファの給与量を増加させる傾向は変わらず、上級品を中心に旺盛な需要が予想されています。中国の米国産アルファルファに対する需要が旺盛ななか、米国の酪農家も乳価が堅調なため購買力は維持されると見られ、当面、産地相場は堅調に推移する可能性があるため注視が必要です。



(米国 Class III 乳価推移 単位：1ドル/100ポンド)

ワシントン州

産地では昨年末から年始にかけて大規模な降雪があったことに加え、コンテナ船の寄港スケジュールが不安定なため、物流の混乱が続いています。各輸出業者は遅延する本船にスケジュールを合わせるため製造と港へのコンテナ搬入の対応に追われている状況です。輸出業者によってはすでに3月いっぱいまで製造スケジュールが埋まっており、新規のオーダーはゴールデンウィーク前後の本邦到着となっています。

産地は冬期を迎え、自給飼料が不足する近隣州の肥育生産者と中国からの需要は旺盛で上級グレードから下級グレードまで相場は堅調に推移しています。

カリフォルニア州

同州南部のインペリアルバレーでは、22年産の生産が進んでおり、一部の圃場では収穫が始まっています。近隣州のアリゾナ州でもこの先2週間で1番刈の収穫が開始され、今後1カ月の間に1番刈の取引が本格化される見込みです。

米国産チモシー

アルファルファ同様チモシーも国内外から引き合い強く、産地相場も堅調に推移していることから、生産者によっては22年産の作付面積の増加も示唆しています。一方、主産地ワシントン州においてもアルファルファの相場も堅調なため、22年産チモシーの作付面積は春先まで注視が必要です。

スーダングラス

主産地であるカルフォルニア州インペリアル群の灌漑局の発表によると1月15日時点の競合作物であるデュラム小麦の作付面積は32,760エーカーとなっており、前年同期の13,662エーカーと比較し、240%と大幅に作付けが増加しています。肥料価格の高騰を受けデュラム小麦の作付け意欲減退も予想されていましたが、直近の小麦相場が堅調なこともあり作付面積が増加しています。

デュラム小麦の生育は早播きスーダンと収穫時期が重なり、小麦の作付け増加は早播きスーダンの生産量減少に直結するため引き続き作付面積には注視が必要です。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

高騰する北米産グラスヘイの中で一番手ごろ感のある草種ということもあり、産地では韓国や日本から引き合いは強くなっていますが、すでに現地在庫は成約済みとなっており、余剰在庫はない状況です。22年産を取り巻く生産環境は厳しく、人件費、肥料代、燃油代など生産コストが上昇していることに加え、輸出業者も人件費や輸送費が高騰しているため新穀価格の上昇が懸念されています。

ストロー類

オレゴン産のライグラスストロー、フェスクストローは日本、韓国からの引き合いが引き続き強いものの、主要輸出港であるポートランド港では日本向けサービスの減便と慢性的に空コンテナの供給量が少ないため各輸出業者は満足に出荷できていない状況が続いています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区、中部クレモナ地区ともに21年産の産地在庫は成約済みとなっており余剰在庫はない状況です。21年産は夏場の早魃の影響で産地周辺の酪農及び肥育農家で自給飼料が不足したことや、米国チモシーの生産量減少を受けカナダ産チモシーに対する需要は増加し産地相場が上昇しました。このため22年産においても生産者はチモシーに対する作付け意欲が旺盛であるため作付面積の増加が期待されています。

豪州産オーツハイ・豪州産ストロー

21年産オーツハイは12月のクリスマス前に東豪州でベーリングを完了し収穫が終了しています。ウィートストローの収穫も1月までに終了しています。ストローの作況はベーリング時の天候の影響を受け各産地で様々となっています。西豪州では収穫期の天候に恵まれたため品質は良好なもの、南豪州、東豪州では不安定な気候から見た目の劣る品質のものが多く発生しています。

ストロー需要については、北米産の不安定な船積みの影響もあり、オーツハイ同様日本、韓国からの引き合いは強い状況です。一方で直近、肥料価格が高騰したことで、

肥料の購入量を抑えるためストローをベーリングせずに圃場に鋤きこむ生産者も多く、各輸出業者は各国の需要を満たすほどの現物を確保できていない状況です。ストロー相場は国内外の需要が増えていることから上昇しており、下級品のオーツハイよりも高値で売買されています。

豪州海運情勢について

豪州航路も北米同様、コンテナ本船のスケジュールは不安定で各輸出業者はコンテナ本船到着に備えトラックの手配や製造に追われています。直近では西豪州のフリーマントル港及び南豪州のメルボルン港へのコンテナ本船の欠便が増えています。このため輸送能力が低下し、輸出業者によっては確保できた船腹に限りがあるため、各顧客に対し3月の出荷制限を行っています。また工場での作業員不足も表面化しています。従前であれば海外からのワーキングホリデーを利用した渡航者や農業研修者を製造スタッフとして雇用できたものの、新型コロナウイルス感染症拡大以降、豪州では海外からの渡航者を規制しているため、輸出業者によっては慢性的な作業員不足に陥っており工場の操業に苦慮している状況です。

以 上